

令和5年度事業報告

令和5年度は「第5次中期計画」の初年度としてウイズコロナ・ポストコロナを念頭に「同世代を支える」、「次世代を支える」、「地域を支える」事業活動を目指した中、感染を続けましたコロナウイルスも5月には5類移行となり、コロナ禍からの脱却が図られるようにもなりました。また、高齢化社会の進展は加速度的に進み、60歳代の会員の入会は減少を続け、シルバー人材センターの取り巻く環境は決して良い状況ではありませんでした。さらに1月の能登半島地震で事務所のある加賀交流プラザさくらも避難所となり、一時200名弱の方が避難されました。さらに世界情勢の不安定化も継続しており社会経済状況も混沌としております。

事業の実績の中で、会員数は前年度末から10名減少した882名ですが、10年前との比較では90名増加しております。さらに女性割合は引き続き40%を超え42.0%に達しております。

請負の契約額は5%を超える約2億7千7百万円となり、派遣は小・中・高校の部活動、郊外活動が活発化したことからマイクロバスの運行実績等により契約額が8%を超える増加で約1億4千9百万円となり、契約額の合計は約4億2千6百万円と前年比6%を超える約2千4百万円の増加となり、全体収支も約73万円の黒字となりました。

就業確保数を示す受注件数は、前年度より41件減少し、就業率は目標値には届かなかったものの、就業延べ人員は第5次中期計画の最終年目標を超える約9万人日に達することができました。

安全就業については、幸い重篤事故はありませんでした。傷害事故7件、賠償事故7件、計14件の事故が発生しており、昨年より2件増加しております。特に賠償事故で飛び石事故が増加しており安全就業の徹底が求められております。

地域貢献事業として春・秋2回の元気まつりを実施し、会員をはじめ地域住民の皆様には賑わい創出ができたと考えております。また、ボランティア活動は秋・春共に天候に恵まれず参加率は低迷しましたが、地区懇談会は会員アプリ「スマイル トゥ スマイル」の登録に特化して開催し現在23%の登録率となっております。また、「事務局だより」や「広報かが」有料広告の毎月発行・掲載により、会員とのコミュニケーション強化、シルバー就業の拡大・会員増強を図りました。

今後も地域の皆様に愛され、信頼されるシルバー人材センターとして躍進するために、会員と役職員が一丸となって努めてまいりたいと思います。

令和5年度事業実績詳細については、次のとおり報告いたします。

1. 会員の登録状況

区分	令和5年度	令和4年度	差引
男	512人	523人	△11人
女	370人	369人	1人
計	882人	892人	△10人

会員の平均年齢（歳）			会員の最高年齢（歳）	
男 性	女 性	全 体	男 性	女 性
75.3	74.8	75.1	95	93

（単位：人）

項 目	年度当初 会 員 数	入 会 数	退 会 数	年度末 会 員 数	退 会 理 由				
					就 職	病 気	死 亡	加 齢	その他
男	523	52	63	512	3	14	6	12	28
女	369	44	43	370	5	10	1	6	21
計	892	96	106	882	8	24	7	18	49

2. 事業の実績

項 目		令和5年度		令和4年度		前年度のとの比較	
会員数		882	人	892	人	△ 10	人 -1.1%
	男性	512	人	523	人	△ 11	人 -2.1%
	女性	370	人	369	人	1	人 0.3%
就業率		75.1	%	74.6	%	0.5	0.5%
就業延人日計		90,259	人日	87,860	人日	2,399	人日 2.7%
請 負 事 業	就業延人日計	59,862	人日	59,095	人日	767	人日 1.3%
	受注件数	2,445	件	2,482	件	△ 37	件 -1.5%
	契約金額	276,990,879	円	263,840,058	円	13,150,821	円 5.0%
	支払配分金	245,025,865	円	233,866,797	円	11,159,068	円 4.8%
	受取材料費	10,709,676	円	11,683,272	円	△ 973,596	円 -8.3%
	受取事務費	21,255,338	円	18,289,989	円	2,965,349	円 16.2%
派 遣 事 業	就業延人日数	30,397	人日	28,765	人日	1,632	人日 5.7%
	受注件数	180	件	184	件	△ 4	件 -2.2%
	契約金額	149,525,329	円	137,956,437	円	11,568,892	円 8.4%
	賃金	136,741,703	円	126,223,565	円	10,518,138	円 8.3%
	受取事務費	12,783,626	円	11,732,872	円	1,050,754	円 9.0%
合 計	契約金額合計	426,516,208	円	401,796,495	円	24,719,713	円 6.2%
	配分金・賃金	381,767,568	円	360,090,362	円	21,677,206	円 6.0%
	材 料 費	10,709,676	円	11,683,272	円	△ 973,596	円 -8.3%
	受取事務費	34,038,964	円	30,022,861	円	4,016,103	円 13.4%

※派遣事業：県シ連が公表する当センターの契約額は174,617千円（県の諸経費25,092千円を含む）

(再掲)

○ 元気市事業の実績 (内訳)

① 大聖寺元気市 (R5.4.29~R.5.12.16 毎週土曜日 8:00~10:00)

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	増 減
収 入 金 額 (円)	1,189,770	1,219,550	△29,780
就 業 実 人 員 (人)	12	16	△4
就 業 延 人 日 (人)	210	204	6

② 片山津・松が丘元気市 (R5.4.30~R.4.12.10 毎週日曜日 7:30~10:00)

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	増 減
収 入 金 額 (円)	809,630	1,008,970	△199,330
就 業 実 人 員 (人)	10	12	△2
就 業 延 人 日 (人)	177	197	△20

③ 普及啓発事業

区 分	十万石まつり	健康フェスタ	元気まつり
収 入 金 額 (円)	87,650	56,390	280,480
就 業 実 人 員 (人)	9	7	46
就 業 延 人 日 (人)	9	7	46

内容 ・元気まつり (野菜・加工食品販売)・餅・コーヒー

○ レストランさくら

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	増 減
収 入 金 額 (円)	6,039,779	6,162,870	△123,091
費 用 (経 費) (円)	7,266,147	7,613,932	△347,785
収 支 (円)	△1,226,368	△1,451,062	224,694
利用者人数 (人)	7,969	10,188	△2,219

○ 菊の湯 番台清掃業務

区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	増 減
収 入 金 額 (円)	43,271,000	45,948,000	△2,677,000
費 用 (経 費) (円)	39,186,319	42,452,529	△3,266,210
収 支 (円)	4,084,681	3,495,471	589,210

[会員増強]

① 会員確保につきましては、入会者 96 名、退会者 106 名、差引 10 名減、会員数 882 名になりました。目標値の 895 名に及びませんでした。

入会説明会には前年を上回る 195 名の参加がありながら、欠員の補充も速やかに

できず、さらに窓口にも求職相談に頻繁に訪れ、新規受注もあるものの就業のミスマッチは解消されておりません。

- ② 新規入会促進対策として、会員紹介の報奨制度に 23 名が対象となり、前年より 2 名減少しておりますが、会員増強の一翼を担っていることから今後も当該制度の活用が必要です。
- ③ 平成 26 年度から納税奨励及び確定申告期間の混雑を回避することを目的に、シルバー会員を対象に実施している確定申告相談は、前年度並みの 42 名の参加がありました。

[就業機会確保・契約実績]

- ① 契約実績につきましては、請負実績が前年度比 5.0%増、派遣実績が 8.4%増となり、契約実績総額は約 426,516 千円 6.2%増と過去最高の事業実績となりました。請負・派遣ともに受注件数は微減したものの、就業延べ人日は前年比約 2 千 4 百人超えの 9 万人日を達成しました。
- ② 経常収支決算につきましては、収益 368,949 千円、経費 368,215 千円で、受取事務費が対前年比 4,016 千円の増収益になり、収支は約 734 千円の黒字となりました。

3. 健康管理と安全就業の推進

[事故防止対策]

- ① 令和 5 年度事故発生状況は、傷害事故 7 件、賠償事故 7 件が起きております。傷害事故の中で、5 件が不注意や身体的機能低下によるものです。安全就業と健康管理は両輪であり、健診助成を継続実施するとともに健康チェックの関心度を高める必要があります。また、賠償事故 7 件中 5 件が飛び石による事故であり、対策として危険な範囲の車両を移動させることを徹底する必要があります。

いずれにしても些細な不注意が事故原因の大半であり、会員への注意喚起を行っていきます。

- ② 令和 5 年度は安全パトロールを屋外作業の繁忙期の 6 月から 10 月まで 10 回実施し、作業会員の安全就業とともにコミュニケーションを深めることを図りました。
- ③ スクールバス運転では、幸い人身事故の発生はありませんが、物件接触事故が起きております。今後とも、注意喚起していきます。

[安全就業意識の啓発と向上]

- ① 安全就業と健康管理は両輪であることから始めた健診受診奨励制度は、59 名の会員の利用がありました。前年度から 2 名増加しておりますが、さらに周知強化が必要です。

- ② 事務局だよりを 8 回発行し、安全就業、事務局からのお知らせ、頭の体操など健康管理に役立つ情報を継続発信しております。
- ③ 安全就業標語応募は、28 人から 67 作品、健康標語は 30 人から 59 作品ありました。最優秀作品各 1 点を啓発活動に活用していきます。

4. 地域貢献活動の推進

- ① 「地域を支える」、「同世代を支える」を旗印に実施している地域貢献活動について、加賀市から指定管理を受託している「かが交流プラザさくら」の利用者数は、204 会議室以外は利用可能となり約 3 千人増加し、約 5 万 5 千人となりました。
- ② 「加賀市もてなしガーデナー」活動は、四季の花々で彩り、訪れる利用者を楽しませており、今後も継続していきます。
- ③ レストラン利用については、年間 7,969 人で前年より約 1,364 人さらに減少しております。また、収支も 20 万円程度改善しましたが 125 万円の赤字を計上しております。しかし「かが交流プラザさくら」に賑わい創出の一翼を担うものとして役割を果たすため、さらなる自助努力を重ねて収支の改善に取り組みます。
- ④ 加賀市委託事業「加賀市高齢者家事支援サービス事業」は、サポーター会員の高齢化や活動範囲の関係等により、活動サポーターは 6 名ですが、利用者の介護移行や死亡もあった中で、新規利用者が 9 名あり、年度末には 18 名の利用者となりました。サポーターと新規利用者との相性や委託体制の関係で充実が難しい状況が続いております。
- ⑤ 買い物弱者の支援にもなっている「元気市活動」は、新会員の補強が叶わず、他の活動同様に高齢化の進行で苦境に立たされております。なお、片山津会場が 5 月から松が丘公民館前に移りました。

かが交流プラザさくらの駐車場及びエントランスにおいてシルバー元気まつりを春と秋に開催しました。会員さんも地域の方にも多くの方に喜ばれ大盛況に開催することができ、賑わい創出に貢献することができました。

5. 組織体制の充実・強化

[理事会・各専門委員会の活動充実]

- ① 役員の見識を広め、事業運営に生かすために実施している理事会視察研修は、スケジュール調整ができず実施できませんでしたが、9 月に富山県射水市、11 月に愛知県みよし市が視察に訪れ、自主事業、同好会活動、ボランティア活動など多岐にわたり意見交換することで有意義な時間を過ごすことができました。
- ② 総務委員会、事業委員会、安全・適正委員会及び広報委員会はそれぞれ各 2 回開催され、委員会ごとの課題や事案に取り組むことができました。

[事務局体制の強化]

- ① お客様アンケートでは、事務局対応の改善が認められ不満の記述は見当たりません。
- ② シルバー会計システムが複雑過ぎ、決算状況が常に年度末まで不明であることが課題であります。
- ③ 「スマイル トゥ スマイル」の普及促進のためにもデジタル技術への理解が不可欠となっています。職員体制や会員のデジタル資質向上が求められています。